

●トラック1:専属メイドの耳かき

●背景:主人公の部屋(夜)

(主人公、本を読んでいる)
(遅れてメティスが歩いてくる)

お坊ちゃま。おやすみになりましたか？

(主人公「まだー」)

あら。まだ起きていらっしゃるなんて。
入りますよー？
ダメじゃないですか。
育ち盛りなのにちゃんと寝ないなんて。

(メティス、隣に座る)

ほら、本はいつだって読めますから。

(主人公「勉強のだよ」)

勉強だって同じです。
脳を酷使しすぎても記憶はできません。
だから、しっかりと休んで万全の体調で勉強しましょう。
貸してください。

(メティス、机に本を置きに行く)

今日も寝かしつけてあげましょうか？

(主人公「うん」)

かしこまりました。
では、
はい、膝へどうぞ。
勉強で頭を使った後では、寝苦しいと思うので、

私が癒やして差し上げます。

(主人公「い、いいって」)

ふふふ。遠慮なさらずに。

さ、

ふふ。

私がお母様に代わって、優しさを込めていきますね。
母性はないかもしれませんが……お坊ちゃまを思う気持ちは、
強く持っているつもりです……♡

ふう……………ん……………。

ん…………ふう、う……………ん……………。

んう…………ふう……………んく、う、ん……………。

耳掃除、しましょっか。

耳、こちらに向けてください。

ありがとうございます。

お坊ちゃま専用のこの耳かき棒で、

今日もキレイにしていきますね～……♡

ふんう……………ん……………ん……………んう、ん……………。

うん、んく、うん……………聞きましたよ？

今日は学び舎でたくさん勉学に励まれたと……♡

問いかけにも応え、先生の評判もとてもよいと、
ご意見を頂戴しました……♡

いつも頑張ってとても優秀ですね……♡

私、お坊ちゃまを尊敬しています……♡

(主人公「堅いよ」)

はい？ 堅い、とは。

(主人公「もうちょっとマイルドに褒めて」)

……あつ。

ふふふ、そうですね……私の言葉はいつも堅い。

おやつに食べたケーキのように、甘くしてみようと思います……♡

……とは言いましても、伯爵であるご主人様のご子息へ、

そのような無礼講は許されるのでしょうかね……。

身分不相応というものではないでしょうか……。

(主人公「次までにはもっと柔らかく、ね」)

……ええ。次回までには、言葉を柔らかくしてみますね。

ふふふ。

さて、

ふうう————……。

次は、反対を向いてください。

ありがとうございます。

それでは——

あら、こちらの耳は……少し汚れてますね。

お坊ちゃま……騎士学校の鍛錬の影響ですね……。

髪や体だけを拭いてはいけませんよ～？

耳の裏も、汚れやすいのですから。

それに……お坊ちゃまのような高貴な方は、

身なりをキレイに整えるのも大事な使命です。

(主人公「お堅いよ」)

……ふふふ。

お堅いですか？ 次回から直すので、今日をご勘弁ください。ふふ。

ふう————……。

かなり、スッキリしたのではないのでしょうか？

(主人公「眠くなってきた」)

……ん？ ふふふ。まどろんできたのですね。

私がお堅い話をしなければ、もっと早く眠れたかもしれません。

さあ、寝てしまいましょう♡
今日は、私が一緒にいますから。
今日の疲れを……忘れちゃいましょうね……♡

ふう…………ん…………ふう…………ん…………。
んく、う、ん…………。
ふうふう…………。
んう…………ん…………。

おやすみなさい……♡
お坊ちゃま……♡

●トラック2:日中にご褒美性奉仕♡

●背景:主人公の部屋(日中)

(トラック1の数日後)
(主人公、机で勉強中)
(遅れてメティスがやってくる)

お坊ちゃま。
勉強の方はいかがですか？

(主人公「入ってきて」)

はい、入りますね。
どうなさいました？
あら、経済を学んでいるのですか？
いずれ領地を動かすために、剣だけでなく勉強までしっかりと学ぼうなんて……、
お坊ちゃまはいつも全力ですね。

(主人公「パパが言うから」)

ふふ。ご主人様が急かしたのですか？

なるほど……あの方も若き頃は將軍として戦場を駆け抜けた名うての騎士様です。
お坊ちゃまにも、そういった優秀な騎士様になっていただきたいのですね。

(主人公「それより」)

はい？ なんでしょう？

(主人公「意欲が維持できなくて」)

意欲？ 勉学の、ですか？

つまり……やる気をみなぎらせるなにかがあれば、お坊ちゃまの勉強意欲も、
いつも以上に保てるのですね。

(廊下で足音)

……んー……。

ほかのメイドも働いている時間ですし、
あまり無茶なことはできませんよ？

(主人公「甘やかして」)

ふふふ。本当に、お坊ちゃまは甘えたがりですね。
そこが、愛おしいのですが。

(主人公、座り直してメティスと向き合う)

では、
僭越ながら……今日も、お坊ちゃまを汚させていただきます。

(メティスからキス)

んちゅ……ちゅ、うんん、ちゅ、ちゅぷ、ちゅ……。

どう、でしょう？

勉学への活力になりましたか？

(主人公「足りないよ」)

んう……まだですか？ ふふ、今日はえらく欲しがりますね。

んぷ、ちゅうう、チュツ、れろれろツ、ちゅん、チュツ。

ふんんむ、チュツ……れろ、れろ、ちゅん、ちゅ……ツ、ふうう、ちゅん、ちゅ……ツツ。

(主人公「チンコは、ダメ」)

ちゅん、ちゅ、はい？ おちんちん？

ちゅ、ぷちゅ、チュツ、おちんちんを、スツキリしたいのですか？

ちゅん、ちゅ、いつもはそんな要求をなさらないのに……、
なにか、よからぬ甘言(かんげん)にでも触れましたか？

ちゅうう、ぷちゅ、チュツ、ん、ちゅ。

絶対に、内密でお願いしますね。

ちゅう、ちゅ、お坊ちゃまに捧げる身ではありますが……、
不貞行為で命を落とすのは、未練が残りますので。ふふふ。

では、脱がします。

腰を浮かせてください。

いきますよ。

あら？

ふふふ。

すでに立派な形になっていらっしゃいますね～。

ふふふ……素敵なおちんちんです♪

では、

おちんちんを見せてくださいね。

あらあらあら……。

ふふ。いいおちんちんですね。

お坊ちゃまのように勇ましく……それでいて誇り高さまでうかがえます♡

(主人公「あまり恥ずかしくない？」)

え？

ふふふ。ええ、私、じつは何度かこのおちんちんを見たことがありますて。
お坊ちゃまがひとりで致しながら眠ってしまった後は、
衣服を正しておちんちんを仕舞うのもメイドの務め。

(主人公「は、恥ずかしいよッ」)

ふふふ。お坊ちゃまを恥じらせてしまいましたね。
反省します。
では、お詫びも兼ねて――

(手コキ開始)

おちんちんを、気持ちよくしますね♡
声は、出さないようにお願いしますね。
メイドに聞かれたら……私は生きてはいけませんから。

それに……こういうのは隠れて致すからこそ、興奮すると……、
駆け落ちしたメイドから聞きました……♡
……それと、なのですが……、
よければお耳も舐めてよろしいでしょうか？

お坊ちゃまはお耳が敏感なので……、
ここから……気持ちよさを提供できたら、と思います……♡
では――

(耳舐め開始)

れろれろれろ……ちゅんんん、チュツ。
ぷちゅ、チュツ、んんんむ、チュツ、ちゅるちゅるちゅる……んん、チュツ。
れろっ、ちゅん、ちゅ……ふう、んむ、ちゅ……たくさん、気持ちよくなってくださいませ。

ちゅううう、んんむ、チュツ、ちちゅ、ちゅ……。
ふう……んんん、ちゅん、ちゅ……ズズツ、ちゅる、ちゅ……。
ふふふ……んん、チュツ、声はダメですよ～……？

れろれろッ、ちゅん、ちゅ……感じていいのは、おちんちんだけ♡
れろッ、ちゅん、ちゅ……ん、ぷちゅ、ちゅ……。

ちゅ、ちゅうう、ちゅ……ツツ。

(廊下で物音がする)

ちゅるる、ちゅ……ん、チュツ、
メイドが、近くにいますね……。
ちゅうう、チュツ、ん、ちゅ、今、ドアを開けられたら、ちゅう、ちゅ、
確実に、私の人生は終わりますね。

ぷちゅう、チュツ、んん、ちゅ、んむ、ちゅツ、
まだまだ、私に甘えたいのでしたら……ちゅうう、チュツ、
声は出さないでいただけると、嬉しいですね……♡

ぷちゅん、ちゅ……ちゅる、ちゅ……。
遠ざかってるみたいですね……。
今のうちに――

れろれろれろ……ちゅん、ちゅう。チュツ。
スッキリ、してしましましょう♡

んんう……ふう、ん……。
んくうう、ん……おちんちん、熱くなってきました……♡
それに……ん、ん……ツ、先端から、ヌルヌルとしたものが、溢れてきました……♡

これ、初見ではないですね……♡
お坊ちゃまが一人で致した後は、いつもこの匂いがしてましたから……♡
ふふふ、そう恥ずかしがらないでください。

ちゅむう……、ちゅる、ちゅツ、んん、チュツ。
私は、ちゅうう、チュツ、お坊ちゃまの専属メイド♡
ちゅむ、チュツ、れろれろ、ちゅう、チュツ、お坊ちゃまのことは、
なんでも知っていて、ちゅうう、チュツ、私だけが、ご主人様よりも、
ちゅう、ちゅんんむ、ちゅ、チュツ、お坊ちゃまを知ってるのです♡

ぷちゅうう、チュツ、んんむ、チュツ。
んん、ちゅる、ちゅ……。

(再び廊下で物音)

ん……。

ちゅる、ちゅ、危なかったですね……。

音、気をつけないと……。

んんうう、んっ、ふう、ふう、我慢ですよ……？

もうちょっと……もうちょっと……。

……聞こえなくなりましたね……。

では――

射精、してしましましょう♡

さあ、出して……♡

お坊ちゃま……んん、ん、私はどこまでも、ご主人様を支えますよ♡

大人の世界でも、私は……お坊ちゃまが望むのなら、喜んでこの身を……♡

さあ……来てください♡

私のもとへ……♡

精液を……っ、私に……来て……ツツ♡

(ぶっかけ射精)

あん……っ。

あー……ふいふい……♡

スカートにかかってしまいました……♡

お元気ですね～♡

精液がこんなにたくさん出るのは、さすがに知りませんでした……♡

(主人公「ごめん」)

いえいえ、私が悪いので謝らないでくださいませ。

それに、メイドの掃除技術があれば……精液の汚れすら、簡単に落とせるでしょう。

さて、ここまでですね。

勉強、頑張ってください♡

●トラック3:専属メイドへ調子に乗って生ハメ！絶対秘密のセックス

●背景:主人公の部屋(日中)

(トラック2の数日後)

(主人公が部屋にいて、メティスが窓拭きをしている)

ご主人様～？

今日はとても天候に恵まれていますね～。

ほかのメイド達を連れて散歩に行ってみてはどうでしょう？

(主人公「たまにはのんびりしたいからなあ」)

あらあら……のんびりしたいなんて、

お坊ちゃまの年ではまだ早いですよ～。ふふふ。

……ん？ お坊ちゃ——

(主人公、背後から抱きつく)

あっ！

ど、どうされましたか？ ふふふ。

こんな真っ昼間から甘えに来られるなんて珍しい……。

あら？ 今日のオイタは過激ですね～……♡

メイドのパンツにご興味が？

ん……っ。

あらあら……パンツではなく、お尻？

……あら？ もしかして……。

んう、わかりました……。

お坊ちゃまが求めるなら……私はただ、受け入れるのみです……。

ふう、ふう……。

いいですよ……。

(主人公、立ちバックの位置からメティスの横から顔を出す)

んう、ん……。

私でよろしければ……う、んん、ん、お坊ちゃまの童貞を、
んん、ンツ、私で、消化させてください……。

(ペニス挿入)

んぎゅッ！ ううううううう……ツッ！
うッ！

ふうう、う、うう……ツッ！

まだ、日中ですから、はあ、っ、う、ん……っ、音だけは、控えめにお願いしますね……。

んうううう……ツ！

アッ、うう、ん……っ！ お、お坊ちゃま……ツ！

音はッ、加減を……っ、ううう、ん……ツ！

はあ、はあっ、ううう、ん、ンツ！

いけません……ツ！

ううツ、ん、ンツ、はあ、はあッ、う～～ツ、んん、ん……ツツ！

お坊ちゃまッ、ああっ、う、ううツ、大変おこがましいの、ですが、

はあッ、はアッ、私、処女なのでッ、うう、ンツ、

激しいのはッ、ま、まだッ、慣れて、おらず……ツツ！

うううううツ、んんん、ん……ツツ！

んんツ、うん、ん……ツ、はあ、はあ……っ、う、ん……ツ。

お坊ちゃま……っ、ああっ、う……ツ、さすがに、騎士学校で、鍛えていらっしゃるね…
…ツ。

はあっ、う、んん、ん……ツツ。

私はッ、あっ、んん、ん……ツツ、力加減がっ、うツ、んツツ、

私にはッ、はあッ、はあッ、う～～～～……ツツ！

(廊下で物音)

う……ツ！

んん、ンツ、ろ、廊下にツ、誰か……ツ。

はあ、はあッ、音は、気をつけて……ツ、ください……ツ。

ふん、ンツ、はあ、はあッ、うん、ん……ッ、はあ、はあ……ツ、うう、ん……ツツ。

はあ、はあッ、

んうう、んツ——

(主人公からキス)

ンぷッ！ んん、チュッ！ あッ、ぷちゅうう、ちゅ……ツ！

ぷちゅッ、あッ、うう、ンツ、気持ち、い……ッ、んんん、ちゅ……ツツ。

ふう、ふう、んんんん、ちゅッ……はあ、はあッ、んむう、ちゅん、ちゅ……ツツ。

お坊ちゃまのおちんちんツ、うう、ん……ちゅうう、ちゅ……ツ、

キスの時ツ、うんん、ちゅ、チュッ、こんなに、硬く……ツ。

ふんん、チュッ、ぷちゅん、チュッ、んんん、チュッ、あッ、うう、んツツ！

ぷはあッ！ ふう、ふう……んうう、ん……ツツ！

ううんん、ん、ンツ。

んうう、うんん、ん……ツ、ああッ、うんん、ん……ツツ。

お坊ちゃまッ、ううう、んツ、ふう、んツ、そろそろッ、満足いただけましたか……？

そろそろ戻らないと、うんん、ンツ、はあ、はあッ、ほかのメイドに、

うううツ、んツ、怪しまれてしまい、ます……ツツ。

んう～～……ううんんん、ん……ツツ！

ああッ、うんん、ンツ……！

ああッ……申し訳ありません……ッ、

私はッ、う～～～～……ツツ！

(メティスのみ絶頂(1回目))

うううう……ツ！

ふうッ、ふう……んんん、んツツ！

はあッ、はあ……ッ、ああッ、ん……ツツ、絶頂、してしまい、ました……ツ！

んうううううう……ッ！

あああつ、わ、私ッ、んううッ、こんなッ、日中からッ、

はあ、はあッ！ ああつ、う、う～～……ツツ！

なんてッ、淫らな……んッ、んんんううう……ツツ！

はあッ、はあッ、あああッ、お坊ちゃま……ッ、もう絶頂するのでしょうか……ッ？

でしたらッ、はあ、はあッ、んう～～……んくう、ん……ッ、

お射精は、はあつ、うう、んうう……ッ、私の、足にッ、でも……ッ！

うううううッ、ああッ！ 待ってください……ッ！

そのままッ、では……んう～～～～～～～～ツツ！

(同時絶頂(中出し))

アアアア……ッ！

アッ……んう～～つ、ん……ツツ！

はあッ、あつ、お坊ちゃま……つ、ああつ、なんと、業の深い……ッ。

ふううッ、んん、んつ、はあ、はあ……ッ。

うく、うう、ん、ん……ッ、はあ、はあ……んん、ん……ツツ。

んううッ、はあ、はあ……ッ。

うう、ん……つ、お坊ちゃま——

！？

誰か来ました！

す、すぐに後始末を……ッ！

んううう……ツツ。

はあ、はあ……つ、

このことは、内密にお願いしますね。

●トラック4:家族総出の外出時にて…♡

●背景:森林(日中)

(トラック3の数日後)
(主人公と父、森へ狩りに)
(主人公、メティスを伴って茂みに)

お、お坊ちゃま……。
近くにご主人様がいらっしゃるのに……どこへ……？

(足を止める)

もしかして——
お坊ちゃま……？

(メティスに抱きつく)

ひゃ……ッ！
あっ、お、お坊ちゃま……。
んうう……こんなところで、甘えるの危険なのでは……。

今日の狩り、とても楽しみにしていらっしゃったじゃないですか……。
お母様にも、いいところを見せようと……。
このようなこと、してはいけません……。

(主人公「一回、出させて」)

んう、またお射精ですか？
んう……でしたら、早めにしてしまいましょう……。
少々お待ちください。

お坊ちゃまを汚すことはできないので——
これを使いますね。

(パンツを脱ぐ)

パンツです。

こちらで、おちんちんを包みます♡

あ、それと——

おちんちんも、解放しないとですね。

こんな大自然の中で大きくされるなんて……、

次期当主とは、このような状況でも興奮できる胆力をお持ちなのですね。

では——

(パンツでペニスを包む)

パンツの中に、お射精お願いしますね。

いきます。

(パンツ手コキ開始)

少し、激しい責めかと思いますが……ご理解お願いします。

早く戻らないと、ご主人様に怪しまれてしまいますから。

睾丸の精液を根こそぎ搾り取りつつ——

(メティスからキス)

んむう、ちゅんん、ちゅく、チュツ、ふうんん、ちゅ、ちゅ。

ふう、ぷちゅ、チュツ……んんん、チュツ、んん、ちゅ……。

しっかりと、楽しんでいただきますね♡

ちゅむ、ちゅんん、ちゅっ、ぷちゅ、ちゅ、チュツ。

んう、ちゅ、チュツ、お坊ちゃまったら、本当にイケナイ子ですね……♡

ちゅうう、チュツ、ぷちゅん、チュツ、ちちゅ、チュツ。

んんん、ふう、ふう、んんん、チュツ……屋外で、おちんちんビンビン♡

ちゅんん、チュツ、メイドのパンツでさらに大きくして、

ちゅ、ぷちゅん、チュツ、んん、ちゅっ、ぷちゅ、ちゅ……ツ、

騎士道精神は——まだまだですね。ふい。

ちゅんん、チュツ、ぷちゅん、チュツ、ちゅう、チュツ。

んん、ちゅ、ぷちゅ、ちちゅ、チュツ……お坊ちゃま？
ちゅう、チュツ、ちょっと辛辣に努めたはずなのに……ちゅう、チュツ、
ますます硬くなってますね？

ちゅるるるう……んんん、チュツ。このおちんちん、
こないだ、私を姦通した時よりも……ちゅう、チュツ、ビンビンです♡
ぷちゅツ、ちちゅ、チュツ、ちゅんん、ちゅ……ツ、ふう、ふう。

んぷん、チュツ……んんんく、チュツ、ちちゅ、チュツ。
ふう、震えてきてますね……♡
ちゅう~~~~~。

ぷはあ……。
ふう、ふう、
んんんう、ん……お射精、しそうですか？
ふう、ん、ん……しそうなのでしたら——

んう、んうう、ん……激しくしごいて、
ふううう、ん、ん……一気に、刺激を加えていきます♡
ふう、ん、んん、ん……。
いかがですか？

れろれろ……ツ、ちゅるう~~~~つ、ちゅ……ツツ。
ちゅんん、ちゅ、私は、ちゅう、チュツ、お坊ちゃまの味方です。
ちゅる、チュツ、どんな変態さんでも、ちゅるるう、チュツ、
お坊ちゃまのためなら、ちゅう、チュツ、お射精だって受け止めます……♡

ちゅるるるるツ、ちゅん、ちゅ……ツ、ふう、ふう……んむ、ちゅ……ツツ。
ちゅうう、チュツ。

(主人公「で、出る……ツ」)

ちゅう~~~~つ、ちゅ、出ます？
ちゅるる、チュツ、はい、どうぞ。
ちゅううう、チュツ、遠慮なく……ツ！

出さないでくださいね——……♡

ふふふっ。言いましたよ？ 根こそぎ搾る、と♡
私、ほかのメイドから情報を仕入れて、理解しました。
ふう……………ん……………。

聞いた話によれば……焦らせば焦らすほど、
精液の量は豊富になると♡

ちゅむう〜〜〜っ、ちゅる、チュツ。
ぷちゅ、ちゅ……ツ、すべて出し切って、
ちゅる、チュツ、今日の興奮は発散しましょう。

ちゅるるる、チュツ、ふう、ちゅん、ちゅ。
ちゅう、チュツ、全部出し切るまで……ちゅう、チュツ、終わりません。
ちゅむ、チュツ、ご主人様の前で、甘えてしまわれたら、ちゅう、チュツ、
私、処刑されてしまうでしょうし。

ちゅむうう、ちゅ、ちゅるるるッ。
ちゅ、まだ、ですよ……？
まだ、ちゅう、チュツ、頑張ってください……♡
頑張って、耐えてください……♡

ぷちゅう〜〜、ちゅんん、チュツ、ちゅる、チュツ。
ふう、んぷ、ちゅ……ツ、ふう、ふう、ちゅんん、ちゅ……ツツ。
あとちょっと……っ、あとちょっとです……ツ！
んう、ちゅう、ちゅう〜〜〜〜〜ツ。

ふうう……。
なんとか、耐えましたね……♡
おちんちんの方も……パンツの中、ぐっしょりと濡れているのに、

ふふふ。我慢強くて尊敬します……♡
ですが——
おしゃべりの時間はもうなさそうです。
お射精、してしまいましょっか。

んう、ふう……ん……。
お坊ちゃま……♡

今日も、たっぷりと出してください……♡

先日、私の中へ出したように……、
睾丸の中の精液を……パンツの中でたくさん出してください♡
さあ……ツ。

んうう、んっ、来て……ツ♡
お坊ちゃま……ツツ！

(パンツ内射精)

ふうう、ふう……っ。
あら……？

ふふふ。
お射精……しちゃいましたか？
ふふふ。お疲れ様です♡

ああ……すごい……♡
パンツの間から、お坊ちゃまの精液が溢れてます……♡
そうそう。このパンツですが、
あとで私が穿きます。

(主人公「汚いよ！」)

ふふふ。汚くなどありませんよ。
未来の領主様の子種ですから……♡
見てください……。
どろどろです……♡

お疲れ様でした♡
すぐに衣服を正して、ご主人様のもとへ戻りましょうか♡

●トラック5:合宿帰りの疲れた身体に甘々生セックス

●背景:廊下(夜)

(トラック4の数ヶ月後)
(主人公が後ろで、その前をメティスが歩いている)

長い合宿、お疲れ様でした。
騎士としての成長がうかがえると、ご主人様も鼻高々でしたね。
今日はお疲れでしょうから、すぐに休みましょう。
さあ、お先にお入りください。

●背景:主人公の部屋(夜)

ふふ。ずっと会いたかったですよ？

(メティス、背後から抱きつく)

ん……っ。
騎士様になるための合宿とは言え、
身の危険を伴う特訓をしていると、ご主人様からうかがい、
私……もう不安でしたよ……♡

ですが、帰ってきてくださいました♡
こんなにも嬉しいことはありません♡

(主人公、メティスの方を向く)

あら。どうしましたか？

(主人公からキス)

ん……っ。チュツ、んん、ちゅ……。
ふう、ぷちゅん、ちゅ……んむん、ちゅ……ツ。
ふふふ……私が、癒やして差し上げます……♡
おちんちんも、元気になってます……♡
お坊ちゃまの体力に問題が――

(主人公「抜いて」)

ふふふ。問題ないようですね。
しましうか……セックス♡
そのまま、後ろに歩いてください。

(抱き合ったままベッドへ座る)

んう……♡ ふふふ……♡
じつは——
お坊ちゃまとセックスをするために、
すでに下着を脱いでいました……♡
では、さっそく——
おちんちんも、解放しますね♡

ふふ……しばらくお会いできなかった間、
おちんちんはどうされてましたか？
また、私で発散する日々を初めていきましょうね……♡
いきますね……♡

(対面座位にてペニス挿入)

んはああああああ……♡
ん……ツ、うん、ん……ツ。
ふふふ……お坊ちゃまのおちんちん……ああツ、
気持ちいいですね……♡
ふう、ん、ん、ずっとお迎えできなかったから、
んん、ンツ、つい、狭くなっちゃってますが——

んんうう……ふんん、ンツ……はあ、はあツうん、んくん、ん。
ふん、んつ、んん、んく、う、んん、ん……ツ。
あつ、んん、ンツ、気持ちいい……♡

ふんん、ンツ、はあ、はあツ、
んあうつ、んんくん、んツ、はあ、はあツ、ふん、ンツ。
あんツ、うんん、ん……んくん、ん……つ、うんん、ん……ツツ。

ふう、ふう、ん、ンツ、んく、ん、ん……ツ。

声を出せないのが、残念ですが……、

ふん、んつ、はあツ、うんん、ん……ツ、ん、ん……つ、

んく、ううう、ん……ツ、んん、ん……つ、うんん、んつ、

はあ、はあつ、今は、うんん、ンツ、快樂を、味わうだけでも、満足です……ツツ♡

うん～～ツ、んん、んく、うう、ん……ツ。

あツ、うん、ん……つ、はあ、はあつ、うんん、ん……ツ、うく、うう、ん……ツ。

ああツ、うう、ンツ、ですが、うう、んつ、ん、ンツ、

このおちんちん、ん、ンツ、いつも以上に、張っていて、

うう、ンツ、はあ、はあツ、声を隠すだけでも、精一杯です……♡

んく、うう、んん、ンツ……はあツ、うん、ん……ツ。

んあツ、うんん、ん……つ、ふんんん、んく、うん、んんん……ツツ。

あん、うんん、ん……ツ、うんん、ん……ツ、

ふう、ん、ンツ、おちんちんの大きさに、うう、ンツ、悶えてしまいそうですが、

はあつ、はあツ、

んぷうん、チュツ、はあツ、うぷ、ちゅツ。

ううう、んん、チュツ、アンツ、ちゅ……ツ、ふんん、ちゅツ。

ふんん、んぷ、ちゅつ……ちちゅツ、ちゅん、チュツ。

あぷツ、んんん、ちゅ……ちちゅ、チュツ。

うんんん、ちゅ……ツ、ふん、ちゅ……ああつ、うう、んつ、

キスで、ビンビンに……♡

はあつ、はあつ、うんむ、チュツ、ちちゅ、ちゅ……ツ。

ううう、ん……ツ、ちゅ……ツツ、そのビンビンが、

うんむ、ちゅツ、チュツ、気持ちいい……♡

はあつ、ふぷ、ちゅん、ちゅ……ツ、ちゅんん、チュツ。

はあツ、ぷちゅ、ちゅ……うぷ、んむ、ちゅ……んん、ちゅる、ちゅ……ツ。

ぷちゅツ、うんん、ちゅ……。

ぷひゅう……ツ！

ふんん、ンツ……つ、ん、ん……ツ、おちんちん、熱くなってきた……♡

ふんん、んっ、ンツ、はあ、はあ……ツ、早く、動きます……♡

んんううううう……ツツ。

はあツうんんん、んツ……アンツ、うんん、ん……ツ！

はあツ、はあツ、うん、ん……っ、ああっ、う、ん……ツ。

気持ちいい♡ あっううう、んツ、メイドが、味わっていい快樂では、
ないと思いますが……っ、うううう、ん……、とめられません……ツツ♡
ふんん、んく、う、んツ、ん……ツ、はあ、はあ……っ。

あんっ、うんん、ん……ツ、ん……ツツ。

あんツ、うんん、んう～～……んん、ん……ツツ。

あああ……いいいい、イク、かも……んうううう……ツツ。

イクううう……ツツ！

(メテイスのみ絶頂(1回目))

うう……ツ！

んう、はあツ、はあツ、うんん、ん……ツツ。

気持ちいい♡ んんう～～っ、ん、ん……ツツ。

腰も、とまりません……ツ♡

ふん、ンツ、んんんん、ンツ……。

このままツ、う～～ツ、んん、ん……ツ、はあ、はあ……ツ、

お坊ちゃんにも、絶頂していただきたいです……♡

はあっ、はあツ、

んくう、ん、ん……、はあ、はあツ。

どうぞっ、ん、ンツ——

んんんツ……うんんん、ん……ツ。

はあっ、はあっ、おっぱいを、吸ってください……♡

うん、んくうう、んツ、はあツ、うんん、ん……ツ、んあっ、ああっ。

ふう、んん、んく、うんん、ん……ツ、はあ、はあ……ん、んん……ツツ。

(主人公、胸を吸う)

んッ！ んんうう、んっ、ふふふ♡
はあッ、はっ、うん、ん……ッ、おっぱいは、美味しいですか？
ふっ、んんん、ンッ、はあ、はあッ、お坊ちゃまのための、おっぱいで……♡

ふん、んううう、ンッ、はあ、はあッ、うう、ん……ッ。
あッ、う、うううう、ん……ッ、んんく、う、ん……ッッ。
メイドの、うん、んく、う、んん、ん……ッ、ああッ、ん……っつ。
庶民のおっぱいで、よければ、はあ、はあッ、うう、んッ、
たくさん、味わってください……ッ♡

んくう、んん、ンッ、はあ、はあッ、うんん、んんッ。
んうん、ンッ……はあ、はふっ、ううう、ん……んん、ん……ッッ。
ああッ、ううう、ンッ、はあ、はあッ、んん、ンッ。

(主人公「出そう……ッ」)

んんん、ンッ、出ますか？
んん、ンッ、はあッ、はあッ、いいですよ♡
もちろん、んんん、ンッ、受け皿になります……♡
はあッ、はあッ、次期領主様の、大切な精液を、
うんん、ンッ、外に出すなんて、許されませんね……♡
んうう、ンッ、では――

んううううううう……ッ。
はんん、ンッ、はあッ、はあッ！
う～～っ、ん、ん……ッ、お坊ちゃま……ッ♡

んうう、ん、こんなにもッ、おっぱいに甘えているのに、
ふう、ふう……んん、ん……ッ、お坊ちゃまが、とても遅く見えます♡

はあッ、はあッ、うんんん、ンッ、あッ、あああ、ん……ッッ。
イクッ、ううううう、んん、ん……ッ、はあ、はあッ、どうか、
んん、うう、んッ、お坊ちゃま、も……ッ♡

ああああああああ……ッッ！
イクイクイク……ッ、んう～～～～～～……ッッ！

(同時絶頂(中出し))

んうううううう……ツ！

あッ！ う～～っ、んツツ！ ふう、んん、ん……ツ！

ああッ、うううう、ん……ツ、気持ち、よかったあ……♡

あああッ、はあ、はあ……ツ。

ふうう、ん、んっ。

んう、ンツ、会えない間に、ずっとしてた自慰よりも、

はあッ、ん、ん、格段に、気持ちよかったです……♡

(メティスからキス)

んぷうう、ちゅ……んんんむ、チュツ。

ふう、んん、りゅっ、ぶちゅ、んん、ん……ツ。

これからも、たくさん求めてくださいね♡

私はいつだって、お坊ちゃまの味方ですから♡

●トラック6:主の居ぬ間に裸で…♡

●背景:主人公の部屋(夜)

(トラック5の数日後)

(メティス、窓から下の景色を見ている)

(ふたりともすでに全裸の状態)

……ご主人様、遠出に行きましたね。

これで今日は……、

私とふたりきり、ですね。

メイドの数名もご主人様の外出についていきましたし、

あとは門衛(もんえい)が数名外に控えるのみ。

今日は思う存分……、
お坊ちゃまの好きなことをしましょう♡

(主人公「いいの？」)

はい、問題ありませんよ♡
いけないことと承知の上で……
私は、この人生をお坊ちゃまに捧げる覚悟です……♡

(メティスからキス)

んぷう、ちゅる、ちゅ、んん、ちゅ……ふう、ちゅ。
んん、ちゅ……。
衣服は……ちゅう、ちゅ、すでに脱いでいてよかったです……♡

ぷちゅうツ、ちゅんん、ちゅ……んんん、チュツ。
ふう、ふう、んんむ、ちゅ……ちゅん、ちゅ……。
このまま、すぐ……ちゅん、ちゅ、致せそうですね……♡

(抱き合ったままベッドになだれ込む)

んっ……！
チュツ、ちゅん、む、ちゅツ。
はああ……っ！

はあっ、はあ……ツツ。
お坊ちゃま……♡
好きなだけ、求めてください……♡
今日からご主人様がお帰りになるまでは……、
お坊ちゃまのモノとして……激しく乱れます……♡
はあっ、はあ……ツツ。

(正常位にて挿入)

んんんううううう……ツツ。
ああああ……ツ、う～……んううう、ん……ツツ。
はあ、はあ……う、んうう、ん……ツ、うう、ん……ツ。

気持ちいい……♡

お坊ちゃまのおちんちは、いつだって……はあ、はあッ、私にとって、

快楽の象徴です……♡

んううう、ん……ツ。

んうううう……ツ！

あああッ、はあ、はあッ、うう～～っ、ん、ん……ツ、あッ、あ……ツ！

すごいッ、あああ、ん……ツ！

ふう、んんううう、ンツ、あッ、うううう、ん……ツツ！

お坊ちゃま……ツ！

はあッ、はあッ、ギョツと、んう、ンツ、させてください……ツ！

はあッ、はあッ、

んううっ、んん、ンツ、はあ、はあ……ツツ。

んう、ううう、ん……ツ、んんん、んう、

んん、ンツ。

んう～～～～、ん……ツ。

声、隠す必要はありませんが、うんん、ンツ、はあ、はあッ、

この方が、ん、ンツ、背徳があって、お坊ちゃまは好きそうですね……♡

ふうう、ふうううツ——

れろれろッ、ちゅう～～っ、ぷちゅん、チュツ。

ちゅっ、ぷちゅん、チュツ……れろれろッ、ぷちゅ、ちゅうううツ。

あッ、あッ、うんん、ん……ツ、ふう、ふう……ツ。

おちんちん、んぷ、ちゅ……ツ、ちゅうう、チュツ。

はあ、はあッ、うんんむ、ちゅ……ツツ、んん、チュツ。

あッ、うんむ、チュツ、ふうう、ふう……ツツ。

う、んむ、ちゅん、ちゅ……ツ、はあ、はあ……ツ、あ、うう、ん……ツ。

ああああ……ツ、いっつ、イク……んんん、ん……ツツ！

(メティスのみ絶頂(1回目))

ううう……ツ！ んんん、ん……ツ！

はあ、はあッ、う、んん、んく、ん……ツツ！
ふう、ふう、お坊ちゃま、お上手です……♡

ちゅんんむ、チュツ、れろれろッ、ちゅんん、チュツツ。
ふんむ、チュツ、はあ、はあ……んちゅ、ちゅく、ちゅ……ツツ。
んんっ、ちゅ、ちゅう、ツ、私、はあ、ん、チュツ、本当に、感じやすくなってます……♡

ちゅむ、ちゅう、チュツ、あっ、うんん、チュツ、
これもひとえに、ちゅ、ちゅう、チュツ、お坊ちゃまの手腕です♡
ちゅんむ、あッ、うんんっ、ちゅツ、ふう、ん、ちゅ……ツ。

(主人公「出して、いい？」)

ちゅう、チュツ、ふいふ。
お射精ですか？ ちゅん、チュツ、構いませんよ♡
はあ、はあッ、ちゅん、チュツ、何度でも、お付き合いしますから♡
ちゅむ、んん、ンツ——

んううううううう……ツツ！
あッ、んぷんん、ちゅう、チュツ、はあ、はあッ、うんく、う～～ツ、んん、チュツ。
はあ、はあッ、うんぷ、ちゅ……ツ、んん、ちゅツツ。

はい……ツ、だっ、出して……ツ！
ううううう、んんん、チュツ、んんんんっ、チュツ！
中にツ、ああッ、ううぷ、チュツ、ちゅ……ツ！

お坊ちゃまの子種が、なによりもツ、ほしいです……ツ！
んんんんううううううう……ツツ！

(同時絶頂(中出し1回目))

んうううッ！
うツ——あッ！ んんんん、んっ！ はあ、はあッ、うん、ん……ツ！
ふうう、ふう……っ。

んうっ、ううう、ん……ツ、はあ、はあッ、

んく、うんん、ん……ツ、ん、ん……ツツ。

お坊ちゃまの子種とは……とても、素晴らしいものをいただきました……♡

(主人公「まだ動いていい？」)

……ふふ。まだ、したいですか？

いいですよ……♡

私も、お坊ちゃまが欲しいです……♡

んううう……ツ！

ふんう、んん、んっ、ああツ、うう、ん……ツ！

ふうツ、ん、んう……ツ、あツ、う……ツ！

お坊ちゃま、あツ、聞こえますか？

はあツ、はあツ、うう、んっ、私達の繋がっているところで、

んん、ンツ、命の音が、聞こえます♡

はあっ、はあっ、んん、ンツ、はあ、はあツ、

うう、んっ、いやらしい音を聞いているとっ、んん、んっ、

メイドでさえもツ、ん、ンツ、淫らになってしまいますね♡

ふう、ん、んっ、あっ、ん、ん……ツ、さあ、

んんん、ンツ、手、お借りしますね♡

んううツ、うう、んっ、ん……ツ、

(胸を揉む)

んん、ンツ、ふふっ、そうです♡

んん、ンツ、私のおっぱいは、あツ、う、んツ、ご主人様にさえ、

触ることのできない、禁足地……♡

はあっ、はあっ、う、んん、ん、これは、お坊ちゃまだけの、

んん、ンツ、特別なものなんです♡

んうツ、あ、ああツ、うう、ん、んうう、ンツ。

はあツ、はあツ、うう、ん、んうう、ん……ツツ♡

んう、ううう、ンツ、あツ、き、来ます……ツ。

うううううう……ツツ！

(メティスのみ絶頂(3回目))

んんうううツ！

ふう、ふう……んんん、ん……ツ、はあつ、はあ……ツ！

お坊ちゃま……んく、う、ンツ、あつ、あツ、ん、ん……ツツ。

激しいの、ですね……ツ♡

ふう、ふう、んんんん、ンツ、何度でも、味わいたいですツ、この興奮……ツツ♡

んんううつ、はあつ、はあつ——

んぷんんん、ンツ！ チュツ、あああツ、はあ、はあツ！

ちゅん、チュツ！ はあ、はあツぷちゅん、ちゅ……ツ！

うううツ、んく、んんむ、ちゅ……ツツ！

ちゅんん、チュツ、ぷちゅん、チュツ、あツ、うんんん、ん……ツツ！

お坊ちゃまあツ、あつ、素敵です♡ あツ、ああつ、ん、ンツ、激しいです♡

んうううん、ンツ、んん、ンツ、はあ、はあツ、うんん、んツ。

お坊ちゃま……ツ、ああつ、私、

んん、ンツ、メイドの身で、ありながら、ああツ、ん、ンツツ、

お坊ちゃまのことをお、私……ツツ♡

ちゅん、ちゅむ、チュツ、んんん、ちゅ……ツツ。

ちゅううう、チュツ、はあ、はあツ、ぷちゅんん、ちゅツ、んん、ちゅ……ツツ。

ふう、ふう……ツ、んん、んつ。

(主人公「出すよ……ツ」)

ちゅんん、チュツ、はい♡ 子種、ください♡

んううむ、ちゅ、チュツ——

んんんうううううう……ツ！

アツ、ぷちゅん、チュツ！ うんん、ンツ、ちゅ、チュツ！

あツ、はあ、はあツ、うんん、ンツ、ちゅ、ちゅツ！

う~~~~ツ、んんん、ンツツ！

気持ちいい♡ ああツ、お坊ちゃまツ♡ お坊ちゃまつ、すごい♡

んむ、ちゅうう、チュツ！ はあ、はあッ、んんむ、ん……ツツ！

頂戴致しますっ、んむ、ちゅん、ちゅううッ♡
精液をッ、んんんん、チュツ、私の中へ、お迎えさせてください♡
んんむんんんん、ッ、ちゅ、チュツ。

さあッ、今すぐにッ♡
ちゅんん、チュツ、あああッ、んん、チュツ！
イクッ、んんんっ、ちゅッ、お坊ちゃまッ、私ッ、んう〜〜〜〜〜ツツツ！

(同時絶頂(中出し2回目))

んうあああああ……ッ！
あッ！ う〜〜っ、んん、ンツ！ ふう、ふう……ッ！
うくッ、うんん、ん……ッ、はあ、はあ……んん、ん……ツツ！
お坊ちゃまあ……あっ、ああ……はあ、はあッ、
私の中で……んんんん、んっ、子宮の中が、幸せです……♡

ふんんん、ンツ、はあっ、ああっ、んん、んく、うう、ん……。
あッ、うんん、ん……んん、んく、ん……ッ、ああっ、ん……。

んう〜〜……しよ、
んう、ん……ふいふい♡
一気に乱れて、汗をかきましたね♡
今日はもう、お坊ちゃまが怠惰に努めても不服を唱える人はいませんから……、
どうぞ、私と繋がったまま……休んでください♡

●トラック7:おやすみなさい

●背景:主人公の部屋(日中)

(トラック6の続き)

ふう～～……んん、ん……。
私は、お坊ちゃまが好きです。
それと……自惚れに聞こえるかもしれませんが、
お坊ちゃまが私を好いているのも、知っています。

私達は、表立ってお付き合いはできませんし……、
お坊ちゃまが婚姻を結ぶのは、別の貴族の方になるでしょう……。
ですが、私は後悔していません。

お坊ちゃまを愛した人生が、私にとってはとても幸せですから……、
お坊ちゃまと、お坊ちゃまの奥方の幸せも、これからは見守らせていただきます。
でも……それまでは、お坊ちゃまを愛して……たっぷり甘やかさせてください♡

(主人公「メティスと結婚したいよ」)

……ふいふい。
私と、結婚ですか？
ありがとうございます。
私も、結婚できるのならお坊ちゃまがいいです♡
お坊ちゃまの子を、孕みたいです♡
ふう～～……んん、ん……。

はああああああ……。
ふう、ん……寝ましょうか♡
身分違いの私達が寝られるのは、今しかありませんから……♡
……おやすみなさい。
私の、愛する人♡

すう……んう……すう……んう……。
すう……んう……すう……んう……。
すうう……………。

んうう…………。

すうう…………。

んうう…………。

すううう…………。

んうう…………。